小樽港罷業問題径路

分會の行動を 猛烈に攻撃

勞農黨支部から各方面へ抗議する

6.2

勞働農民黨小樽支部では今回の小樽全港内從業員の總ストライキに對し態度決定の爲め二十日夜幹部會を開きその態度を決定した即ち十九日夜り二十日にかけ在鄉軍人救護隊が船舶の乘降客及び郵便物積載等の爲め百五十名の出動を見たことは十四萬市民の約九割を占むる勞働者階級を脅迫し全市にストライキを斷行せる從業員に對し挑戰したるものなりと看取し二十一日木田川市長西尾警察署長に對し抗議文を提出し更に右抗議文を勞農黨北海道支部聯合會に送附し道廳に抗議を申込み一面勞農黨本部に對し在鄉軍人の出動は在鄉軍人がその使命を無視し明かに資本家の走狗となりしものにて勞働者階級に應戰せるものなりとの理由で本部より帝國在鄉軍人會本部に抗議を申込むと同時に勞農黨は今回の事件に對し正式に絶對的態度を決定することに決定した

商工聯合は 斯らく傍觀

小樽商工聯合會にては今回の小樽全港内從業員のストライキに對し如何なる態度に出づるかと云ふ問題の如く二十一日午後一時より商業會議所に臨時總會を開き佐藤常事長外二十餘名出席意見の交換を爲したる一部には運動を見出したるが結局は商工聯合會としては傍觀的態度に出ずる事に決し更に態度を決定することとし尚これに對する二三の意見を研究をなし四時過ぎ散會した

驛運側の態度

梅津監査役談

今回の小樽に於ける勞働事件に關し直接關係ある本社運送業界の代表たる北海中央運送社を訪ふに折柄南部社長も留守中の爲め梅津常任監査役は

目下社長並に專務取締役も上京

移轉である